



平成 30 年度 沢地小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

10月22日（月）に開催された「平成30年度沢地小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日 時	平成 30 年 10 月 22 日（月）19:00～20:40		
会 場	市民体育館		
参加団体 （14名）	富士ビレッジ自治会 光ヶ丘1丁目町内会 富士見台自治会 交通安全母の会 山田中学校	沢地幼稚園 沢地小学校 沢地小学校 PTA 北中学校	光ヶ丘白光会 保健委員会 北上地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「現在の状況を確認しよう」
- 4 「地域でできることを考えよう」
- 5 「話し合いの内容発表」
- 6 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

各団体間の情報やお願いしたいことなどを共有しました。

■主な情報交換の内容

富士ビレッジ自治会	3世代の子育てサロンを毎月行い、30～40名の参加があります。継続性を重視して、12人のスタッフの皆さんが楽しんでできるようにしています。午前中は話をして、午後は活動をしています。
湧水匠の会 (富士ビレッジ自治会)	歌声喫茶をしています。人数が20人以上に増えて満杯です。シニア食堂を開いて一人暮らしの方などを対象とした仲間づくりを新たに取り組んでいます。参加者が多く5～10人くらいです。少ない時は高齢独居の方、老老居住の方が来ると多くなります。独居老人に対しての新たなアプローチを三島市と企画して、これから実施してみようと計画しています。民生委員さんと出前おにぎりをしてみたいです。
光ヶ丘一丁目町内会	一回目の連絡会の後で町内会の満足度調査を実施しました。結果、大多数の方はやっていることに賛成してくれています。防災アンケートも2回やりましたが、活動の結果が出ていることが確認できました。少しずつですが進歩しています。
沢地幼稚園	3歳児の入園が13人あり、今年も学年が確保できました。園庭だけでなく室内で遊ぶことのできる“幼稚園で遊ぼう会”があるので、小さなお子さんに声をかけてください。前回の会議で、中学生がボランティアをしてくれることを聞いて、初めての試みですが、10月13日の幼稚園の運動会で、これまで保護者が担っていた用具の準備を、沢地幼稚園を卒園した11名の中学生がやってくれました。中学生もよく動いてくれ、保護者の方も交流の姿を喜んでくれました。やってみて良かったです。
北中学校	中学生になると支えることができることもあると思います。地域の活動は学校では体験できないことが体験できます。中学生も手伝って楽しかったと言っていました。役立っていることを実感できたからだと思います。三島市の総合防災訓練にも90人以上が参加しました。中学校は土日のどちらかが部活がないので、もっと声をかけていただきたいと思います。
北上地区地域包括支援センター	認知症カフェなど様々な取り組みをしています。9月に富士ビレッジの民生委員さんと富士ビレッジでの困りごとについて話をして交流をすることができました。今後は沢地地区や富士見台で活動していきたいと考えています。
沢地小学校PTA	奄美大島出身です。孤独死はありませんでした。住んでいる家の隣に独居の高齢者がいます。待っているのではなく、声を掛けていこうと思いました。
沢地小学校	学校地域支援本部のなかに放課後学習をいただいている“かわせみ教室”があります。先日、富士ビレッジのグランドゴルフサークルの方とグランドゴルフを楽しみました。そのような交流を今後も増やしていきたいと考えています。先日、通学路で事故がありましたが、地域の方と協力して交通安全に取り組んでいきたいと考えています。

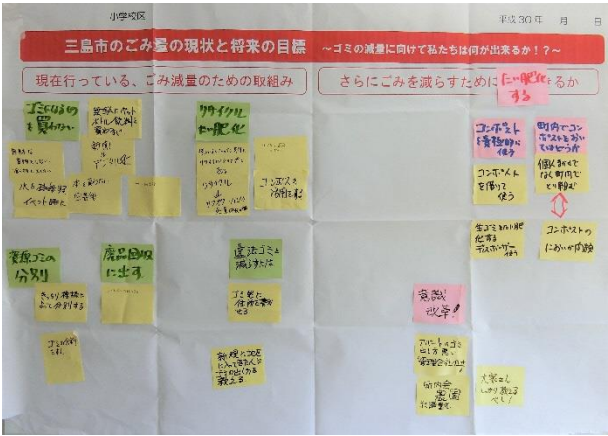
山田中学校	少子化で生徒が減っています。山田小と沢地小から生徒が通学していて沢地小の子が少ないが、早く打ち解けています。9月1日に命を考える日を設定しています。引き渡し訓練をしているが、沢地小の保護者の方には遠いのに関わらず、車を使わずに引き取りに来ていただきました。日没も早くなり、光ヶ丘の生徒は帰るころに暗くなるので、見守りをお願いしたいと思います。
-------	---

「地域でできることを考えよう」のまとめ

今回の連絡会のテーマである「三島市のごみ量の現状と将来の目標」と「多くの住民・団体が関わる自主防災活動について」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、各テーマに分かれて意見交換しました。

	ごみ量の現状と将来の目標
	自主防災活動

意見交換の結果の概要は次ページ以降に掲載しています。



■グループ別意見交換のまとめ

グループA

ごみ量の現状と将来の目標

現在行っている、ごみ減量のための取組

さらにごみを減らすために何ができるか

現在の取組み

■ゴミになるものを買わない

- ・無駄な買い物をしない
- ・食べ物を大切に
- ・イベント時に水を持参する
- ・無駄にペットボトル飲料を買わない
- ・新聞をデジタル化している
- ・本を買わず、図書館を利用する

■リサイクルしている

- ・使わなくなった物をリサイクルショップに売る
- ・リサイクルでヤフオク・メルカリ企業回収の利用をしている

■たい肥化をしている

- ・生ゴミを使う
- ・コンポストを活用する

■資源ごみの分別をしている

- ・きっちり種類によって分別している
- ・ゴミの分別をしている

■廃品回収に出している

- ・子ども会の古紙を集めている

【違法ゴミを減らすには】

- ⇒ゴミ袋に住所を書かせる
- ⇒新規に地区に入って来た人にゴミの出し方を教える

何ができるか

●たい肥化する

●コンポストを積極的に使う

- ・コンポストを借りて使う
- ・生ゴミをたい肥化するディスポーザーを使う

●町内でコンポストを置いてはどうか

- ・個人まかせでなく町内で取り組む
- ⇒コンポストのにおいが問題

●意識改革！

- ・アパートのゴミの出し方が悪く、管理会社任せになっている
- ・ゴミ減量化につながる町内会農園をつくる
- ・大家さんにしっかり教える

現在の防災訓練の参加状況

現在の取組み

■黄色いハンカチ作戦には参加している

- ・ 沢地校区と町内の防災訓練は連動して行っており、昨年実績は参加した組内としては黄色いハンカチ作戦はほぼ参加していた（富士見台自治会）
- ・ 黄色いハンカチに力を入れているが、役員の熱意によって上下する

■現実的な訓練が大切

- ・ 防災については、弱者、要支援者に対する配慮が多い
- ・ 山田中では突発的な地震を想定した避難訓練をしている
- ・ 各部署から参加者を出し、利用者を外に連れ出して訓練を行っている（ラサンテふよう）
- ・ 防災における住民同士の助け合いは班より更に細かい組単位で情報を共有していただいて、ケガ人の救助や救護所への搬送を組内で完結してもらい、報告だけは本部にしている

《課題》

●親の防災意識を高める

- ・ 子どもの参加が低いので、もう少し up するには親の熱意によるところが大きい
- ・ 防災には金がかかる！ 予算をもっと up して欲しい（補助金）

多くの住民・団体が関わるには？

関わっていくためには

●企画から中学生に参加してもらう

- ・ 中学生が訓練の重要な役割を担っている町内がある
- ・ 中学生の代表を自治会に入れる
- ・ 小学校のいざカエルキャラバンへのボランティア参加（山田中）

●やってみたいことをアンケートする

- ・ 気軽に声掛けできるといい
- ・ これまで通りでない工夫

●チャリンコ隊を世代で育てる

- ・ チャリンコ隊による小中高生の参加は有効である
- ・ チャリの乗り方を時間かけて習う

●組単位の組織づくり

- ・ 光ヶ丘町内の参加者（古いデータ）私が8町内会長の時 900 名程度
- ・ 新しく来た人（役員）を受け入れるあたにかさ大切

●楽しめる訓練にする

- ・ 小学校「カエルキャラバン」の実施（おやじの会主催）楽しみながら防災について学ぶ

●要支援者への対応を検討

- ・ 非自治会員の取り扱いと協力は？
- ・ 支援義務をプレッシャーにしない